

NPO法人 情報ステーション
第8回定期総会

目次

挨拶

第8期の活動について

第9期の活動について

平素より情報ステーションの活動に対しご支援を頂きありがとうございます。

第7期では、5つの図書館を新たに開設しましたが、震災やそれに伴う出店計画の見直しなどで大変厳しい運営状況となりました。第8期のテーマは「rebuild 立て直し」でした。スタッフの体制の見直し、きたなら1号公園前図書館・配送拠点の閉鎖、寄付集めのキャンペーンなど、活動の絞り込みと存続への足場固めに取り組みました。

そして9月から始まった第9期は「restart 再起動」です。「まちづくりの情報ステーション」はひとまず「民間図書館の情報ステーション」として事業の確立を目指します。50年後の社会を想い、20年をかけて日本中に図書館を！その為の第一歩としてこれからの1年間を歩んでいきます。一人でも多くの方に参加を頂き実現していきたいと思っておりますので、引き続きお力をお貸しください。

平成 24 年 11 月 7 日

情報ステーション 代表 岡直樹

第8期の活動について

9月

8月下旬にビビットみんなの図書館を開設し、9図書館となった民間図書館事業。新規開設はストップし、既存図書館のボランティア募集など運営の安定化に努める。

ふなばし朝日などに掲載。

10月

例年通りの海老川福像巡りや船橋港まつり、また千葉市栄町の商店街や船橋市浜町で新しく始まるイベントをサポート。また、船橋みらい大学を立ち上げ講演会を開催。

きたなら1号公園前図書館を閉鎖し、書庫機能を総て袖ヶ浦団地図書館に移管する。

金沢大学の視察、地域新聞や千葉日報、JRAC 通信などに掲載。



11月

イベント事業は例年通りのフェイス通行量調査の他、各図書館でのイベントも定着。

大学ゼミの視察、習志野市の図書館報などで掲載。

12月

各図書館にて大掃除と合わせ忘年会を開催
民間シンクタンクの視察、NHK千葉放送局に出演、散歩の達人に掲載。

1月

昨年に引き続き広域ICT事業を実施。

2月

「図書館を創る・街を創る・未来を創る」を作成

3月

聖教新聞、読売新聞などで掲載。

4月

寄付集めキャンペーンをスタート。

5月

JCN船橋習志野で特集。

6月

例年通りの海老川親水まつりに合わせ、前日にまるごみ船橋を開催。

bayfm に出演。日本経済新聞、船橋習志野 walker に掲載。



7月

イベント事業では就職講演会を開催。
韓国企業の視察。

8月

アドバイザリーボードを新設し、久繁哲之介さんをアドバイザーに迎える。

情報ステーション活動報告会を開催。



第9期の活動について

理念と目標

高度成長を終え、少子化・高齢化が進み、震災を経た我が国において、日々暮らしをおくる地域とそこでの交流こそが我々の生活や社会にとって最も重要なものであると考える。

その為に「誰もが孤独を感じる事なく、皆が毎日を楽しく過ごせる社会の実現」を理念とし、「50年後にはコミュニケーションに起因するすべての社会問題を根絶する」為に活動をする。

基本戦略

その為に我々は、年齢により隔離された社会ではなく、地域共同体主義をベースとする文化と経済の持続的発展を目指す街づくりと、サードプレイス理念に基づく、多世代コミュニケーションを自然発生させる交流空間を内包した街づくりに取り組む。

その核となるのは、世代を選ばず誰もが利用できる公共空間である民間図書館事業であり、図書館の利用・ボランティアへの参加・会員への参画など形式に関わらず、この活動に一人でも多くの方の関わりを求めていく。

その第一歩として今期は4つの基本方針のもと、目標達成に向けて活動してゆく。

図書館を船橋・習志野エリアで40館に！

誰もが気軽に、身近な図書館を利用できる街をめざし図書館の開設に取り組む。過去の事例をベースに、様々なスタイルの図書館開設を目指す。特に小規模の商店や病院などの医療施設での事例を作りたい。

今後数が増えたときに最も課題となるのが物流面の体制である。なので来期以降は一定の密度を保ちながら千葉県の中核部や東京東部へエリアの拡大をしていきたい。

ボランティアを600名に倍増！

民間図書館の成果基準は貸出冊数や利用者数ではなく、ボランティアの満足度である。図書館の窓口で喜びや楽しみを見出してもらい、友人知人などの地縁を広げてもらいたい。団塊世代の大量退職が進んだ今こそ、NPOの価値はボランティアの受け皿と成り得るか否かとの気概を持ち、多くの方に参加を呼び掛けたい。

まずは500万円の寄付を！

図書館の運営にあたっては、日常かかる費用は事業収入にて賄う事を前提としている。但し、一日でも早く図書館を全

20%のサイト利用率達成！

国へ広げるために、事業拡大にかかる費用は広く寄付によって集め、多くの方へ事業の趣旨と活動への参加を呼び掛けたい。その為に、まずは1年で500万円の寄付集めを目標に広く周知し、4つの方法で協力を呼びかけたい。

- 法人会員（月額1万円）

活動全般を継続的に支援してもらえる企業を20社を目標に呼びかけ、早期の運営安定化を図ると共に図書館事業の提携方法の可能性を広げたい。

- NPO会員（年間12,000円）

物心共に支援してくださる会員を200名に増やし、今まで以上に理念や経営状況の共有を図り、活動拡大の核として運営への参画を呼びかけたい。

- 図書館サポーター（年間3,000円）

図書館利用者を対象に、無料で利用できる公共図書館としての機能は維持しつつ、対価性の高い寄付制度を作り、事業収入の基盤となるように周知したい。

- ワンコインブックオーナー（一回500円）

システムのバージョンアップにより、蔵書のトレースがかなり正確になってきた。本に対し寄贈者と利用者だけでなく、協賛者＝オーナー制度を導入し、本を通じてのコミュニケーションを増やせる、寄付制度を作りたい。

図書館店舗での収益以外に、WEB事業での可能性を模索したい。現在、貸出しに関するデータはすべて保管されており、人気の本や新しい本などの情報は、弊社サイトにてリアルタイムで公開されている。

ここに、蔵書のリクエスト機能や書籍評価、コメント機能などを実装し、図書館をもっと便利に楽しく使ってもらう為のサイトを目指す。

ゆくゆくはWEB予約を受付け、図書館で受け取りができる制度や、処分予定の蔵書の販売、貸出し統計データの活用や図書館での蔵書の最適化などを、サイトを核に実現し、図書館の委託費・広告費に並ぶ事業収入の柱に育てたい。

NPO法人 情報ステーション

〒273-0005

千葉県船橋市本町1-3-1

電話 047-419-4377

FAX 047-767-8313